



潮来市

平成16年11月

第115号

議会だより

発行責任者 議会議長 堀 信一

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111(FAX)0299-80-1100



第4回潮来市議長杯クロッケー・輪投げ大会

第三回定例会

◎9月定例会概要 2~3	◎委員会視察研修報告 16~20
◎平成15年度決算 4~5	◎全国市町村交流レガッタ大会報告 21
◎一般通告質問（9名） 6~14	◎議会のしくみ 22~23
◎議員活動日誌（7月~9月） 15	◎議会行事 24

こんなことを決めました

平成15年度決算の認定など34件の議案等を審議

第3回定例会は、9月8日から21日までの14日間にわたり開催されました。

主な議案は、報告1件、条例の制定・改正3件、補正予算5件、決算認定3件、同意1件、請願・陳情13件、意見書5件、その他3件です。

一般通告質問については9人の議員が登壇し、執行部の所信が問われました。

条例制定・改正

環境美化条例の制定

潮来市環境美化条例が、制定されました。

粗大ごみ等の不法投棄の増大、住宅街での犬の粪によるトラブルや湖岸河川での釣り針・釣り糸の放置など現行の条例では対応できない事例が多く発生しているため、現状にあつた条例に見直し、住民の意識の高揚並びに環境保全の推進等を目指すものです。

市の所有権と収集・運搬の禁止を明記

潮来市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部が、改正されました。最近、ごみ集積所から新聞紙等の古紙を持ち去る行為が多発していることから、集積場所に出された古紙等の「市の所有権」と「市の指定する者以外の者の収集と運搬の禁止」を明記する改正をし、警察の摘発を容易にすることにより、資源の持ち去り行為を防止しようとするものです。

会議経過

九月八日（水）本会議

傍聴者 ○名

九月十一日（土）休会
九月十二日（日）休会

九月十三日（月）委員会
総務委員会
環境経済委員会

九月九日（木）本会議
出席議員 二四名
傍聴者 ○名

九月十四日（火）委員会
教育福祉委員会
建設委員会

九月十日（金）本会議
決算審議
出席議員 二四名
傍聴者 ○名

九月十五日（水）本会議
市政一般に関する通告質問
出席議員 二四名

民間保育所運営費・施設整備費国庫負担制度の堅持を求める意見書

現在、少子化社会への対応に向けたさまざまな取り組みが、国の積極的な推進のもと、国や地方自治体で進められています。このような中で、保育所運営費国庫負担制度は、将来を担う子供たちの健やかな成長を保障し、保育所運営を安定的に実施するための重要な制度でありました。

しかし、国では、いわゆる「三位一体改革」の議論の中で、保育所運営費の国庫負担制度を見直し、平成16年度より公立保育所運営費を一般財源化し、地方自治体に負担を転嫁させ、さらに、民間保育所運営費・施設整備費についても一般財源化しようとしております。これが実施された場合には、地方財政を一層圧迫するだけでなく、保育水準の維持・向上、児童福祉の推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮されます。

よって、本議会は、国におかれて、民間保育所運営費・施設整備費については、現行の国庫負担制度を堅持するよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年9月21日

茨城県潮来市議会

県立高校の一方的な統廃合を見直し、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見書

「いじめ」問題や「不登校」、「授業についていけない」生徒の増加は、深刻な社会問題になっています。生徒や親はもとよりすべての県民が、こうした事態を一日も早く打開し、個人の尊厳が重んじられ、学ぶことの喜びやたくさんの友だちに囲まれた楽しい学生生活を望んでいるのではないかでしょうか。現在、茨城県は中学校卒業生徒数が減少していることを理由に、県立高校の学級削減と統廃合計画を推進しています。2001年2月に「2005年度までに統廃合を含めて、124学級の削減」を求める茨城県高等学校審議会答申が出され、2001年10月に県教育委員会は県立高校の統廃合を推進するための「県立高等学校再編整備の基本構想」を発表。2002年6月には「県立高等学校再編整備の基本計画」を発表。2003年2月には「県立高等学校再編整備の前期実施計画」が一方的に発表され、2003年から2006年の間に5校の統廃合をするとしています。今年4月に大字一・二高の統合により発足した大字清流高校は、総合学科の施設整備の遅れや県教委の説明不足により受験者が敬遠した幅広い定員割れを起こし、前述多難なままのスタートを余儀なくされました。「基本計画」によると、110校の全日制制高校を16校程度削減し、94校程度になるとされているので、後期計画では、さらにならに11校もの統廃合が行われることになります。生徒急減期は2006年度で一段落し、その後はほぼ横ばい状態になります。後期計画で11校もの統廃合が行われると、30人以下学級の実現が遠のくだけでなく、受験競争や遠距離通学がますます激化し、「学力問題」「いじめ」などの教育問題が悪化するであろうことは明らかです。しかも、学校がなくなることは、地域の文化や経済にとって重大な影響を与えます。このように、高校統廃合は、県民世論に逆行するものであることは明らかです。「30人以下学級を実現し、過度な受験競争をやめて、ゆきとどいた学校教育を実現してほしい」これが多くの県民世論です。よって、一人ひとりの子どもたちが大切にされ、ゆきとどいた教育が保障される学校教育を実現するために、次のことを要望いたします。

要 事 項

1. 県立高校の統廃合計画を見直し、一方的な統廃合は行わないこと。
2. 県立高校の1学級の定員を30人以下とすること。
3. 受験競争や遠距離通学を緩和するために、高校間格差を是正すること。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年9月21日

九月十六日（木）
本会議・委員会
市政一般に関する通告質問
出席議員 二四名
傍聴者 二名
議員定数調査特別委員会
九月十七日（金）委員会
環境経済委員会

九月二十一日（火）
本会議
追加議案審議
委員会審査報告
出席議員 二四名
傍聴者 ○名
六名でした。
第三回定例会の傍聴者は、

傍聴者 四名

九月十八日（土）
九月十九日（日）休会
九月二十日（月）休会
九月二十一日（火）
本会議

請願・陳情の審査結果

議案番号	件 名	提出者	結 果
請願 第4号	ゆたかな教育を実現するための教育予算の充実を求める請願	潮来市延方東1776-2 小林けい子 (他11名) 紹介議員 加藤政司	採 択
請願 第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願 (16・9・8 教育福祉委員会付託)	潮来市延方東1776-2 小林けい子 (他11名) 紹介議員 加藤政司	採 択
請願 第6号	潮来市議会議員の定数削減に関する請願書 (16・9・8 議員定数調査特別委員会付託)	潮来市須賀2647-4 水郷マスターズ野球倶楽部 会長 本田 豊 (他920名) 紹介議員 長谷川幸雄・橋本きくい・吉川 俊	継続審査
請願 第7号	「北浦の水質改善対策」に関する請願書 (16・9・8 環境経済委員会付託)	潮来市日の出3-5-8 北浦の水をきれい にする市民の会 会長 橋本きくい 紹介議員 加藤政司・芝田貢・根本又男	採 択
陳情 第7号	要望書 (舟券売り場ポートピア潮来の建設) (16・6・9 環境経済委員会付託)	潮来市潮来250 岡本秋男神栖啓愛園 保護者会 磯山 正 「舟券売り場ポートピア潮来」建設準備室長 永井博久	継続審査
陳情 第10号	要望書 (牛堀地区小学校跡地利用) (16・9・8 総務委員会付託)	潮来市郷土史研究会 会長 山澤幸次 (他9名)	採 択
陳情 第11号	民間保育所運営費・施設整備費国庫負担制度の確保を 求める要望書 (16・9・8 教育福祉委員会付託)	潮来市民間保育園連絡協議会 代表 香取一成	採 択
陳情 第12号	請願書 県文化財潮来市辻二十三夜尊堂塗装工事への 財政補助のお願い (16・9・8 教育福祉委員会付託)	二十三夜尊総代代表 沼里潤三郎 (他8名)	採 択
陳情 第13号	要望書 (下水道整備) (16・9・8 建設委員会付託)	(仮) 社会福祉法人 光峰会 設立者代表 大川暁子	不採択
陳情 第14号	要望書 潮来市立「日の出中学校」への体育館及びグ ランドの速やかな設置について (16・9・8 教育福祉委員会付託)	潮来市立日の出中学校教育後援会 会長 後藤博子 (他15名)	継続審査
陳情 第15号	要望書「学童クラブ指導員の継続雇用と研修制度につ いて」 (16・9・8 教育福祉委員会付託)	潮来市潮来8-1 潮来学童クラブ 父母会 会長 大久保君枝 (他4名)	不採択
陳情 第16号	「県立高校の一方的な統廃合を見直し、30人以下学級 実現でゆきとどいた教育を求める意見書提出」に関する 陳情 (16・9・8 教育福祉委員会付託)	鹿嶋市平井1175-23 茨城県高等学校 教職員組合 潮来支部長 二宮久美子	採 択
陳情 第17号	要望書「福祉バス運行依頼に付いて」 (16・9・8 総務委員会付託)	大生原地区区長会長 羽生昌弘	継続審査

関係機関に意見書を提出しております

ゆたかな教育を実現するための教育予算の充実を求める意見書

少子・高齢化社会が進む中で、21世紀は、とりわけ教育と福祉が重視されなくてはならない。今、学校教育に求められていることは、子ども一人が大切にされ、ゆたかな人間関係の中で教育が行われることである。

「共に生き、学び、育つ」学校をめざし、「地域に生きる学校」づくりをすめることは、子ども・保護者・教職員・地域住民の共通の願いである。「いじめ」「不登校」「学級崩壊」など山積する教育問題を解決するには、学校にゆとりをとりもどし、一人一人にゆきとどいた教育をすることが大切である。また、一人一人の基礎学力の向上をはかり、さらに、子どもたち一人一人が自分で学びたいことを自分で選んだり（選択教科）、教科の枠を越え子どもたちの興味・関心を抱く課題学習（総合的な学習）を行なうなど、教え込む教育から共に学ぶ教育を実現するには、欧米並の少人数学級が不可欠である。

国は、平成13年度を初年度として、少人数指導加配を柱とする「第7次公立義務教育小学校教職員配置改善計画」により、基礎学力の向上と細かな指導を実現する観点から、教職員の定数改善を実施しているところである。また、平成16年度からは、多様な教育活動の展開に対応するため、指導方法工夫改善定数加配の範囲内で、研究指定校の少人数学級編成に実用できるようになった。しかし、都道府県や市町村が独自に行なう少人数学級の導入に対して、国からの十分な措置財源がないのが現状である。

政府においては、「教育は未来への先行投資」という理念にたち、教育を社会の中心目標にすえ、ゆとりあるゆたかな教育を実現するために、第7次定数改善計画の完全実施と、都道府県・市町村が、学級編制の彈力化に伴い独自に導入する少人数学級に必要な教職員の加配について、十分な財源措置を講じよう強く要望する。

また、総合的な学習など新たな教育課程に対応した教職員配置や、「いじめ」「不登校」など、教育課題に対応するため教職員の加配の実現を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。
平成16年9月8日 潮来市議会

義務教育費国庫負担法の堅持を求める意見書

義務教育費国庫負担法第1条では、「義務教育無償の原則に則り、国民のすべてに対し、その妥当な規模と内容とを保障するため、国が必要な経費を負担することにより、教育の機会均等とその水準の維持向上を目的とする」と述べている。

しかし、政府は、1985年より義務教育費国庫負担制度対象の見直しを行ってきた。教材費・旅費の一般財源化を始めとして、2004年度には、3大臣合意に基づき退職手当・児童手当を一般財源化し、現在給与費本体以外は全て対象外となっている。

一方、2004年6月に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に対する基本方針2004J」では、いわゆる「三位一体改革」の全体像をこの秋にも明らかにし年内に決定することと、全休像の中に平成17年度、18年度に行なう3兆円程度の国庫補助負担金改革の工程表、税源移譲の内容及び交付税改革の方向を一括して盛り込むとしている。

義務教育費国庫負担制度については、2004年度5月、中央教育審議会が「義務教育費に係る経費負担の在り方」(中間報告)の中で、「義務教育は国の責務であり、義務教育費国庫負担制度は堅持すべきである。一般財源化されれば、地方の財政状況により義務教育水準の地域間格差を招く。また、事務職員・栄養職員も学校の基幹的職員であり、引き続き国庫負担の対象とすべきである」と提言している。

今まで数多くの地方自治体から、義務教育費国庫負担制度堅持の意見や、PTA全国協議会・全国都道府県・都市・町村教育長協議会(会)を始めとした教育関係2団体の要請により制度は維持されていたが、今後も義務教育費国庫負担制度見直しの検討が続くと考えられる。

政府は、子どもたちに對し最善の教育環境を提供するため、義務教育費国庫負担制度を堅持すると同時に、学校の基幹的職員である事務職員・栄養職員の適用除外を行わないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年9月21日 潮来市議会

北浦の水質を改善させるための諸対策の実現を求める意見書

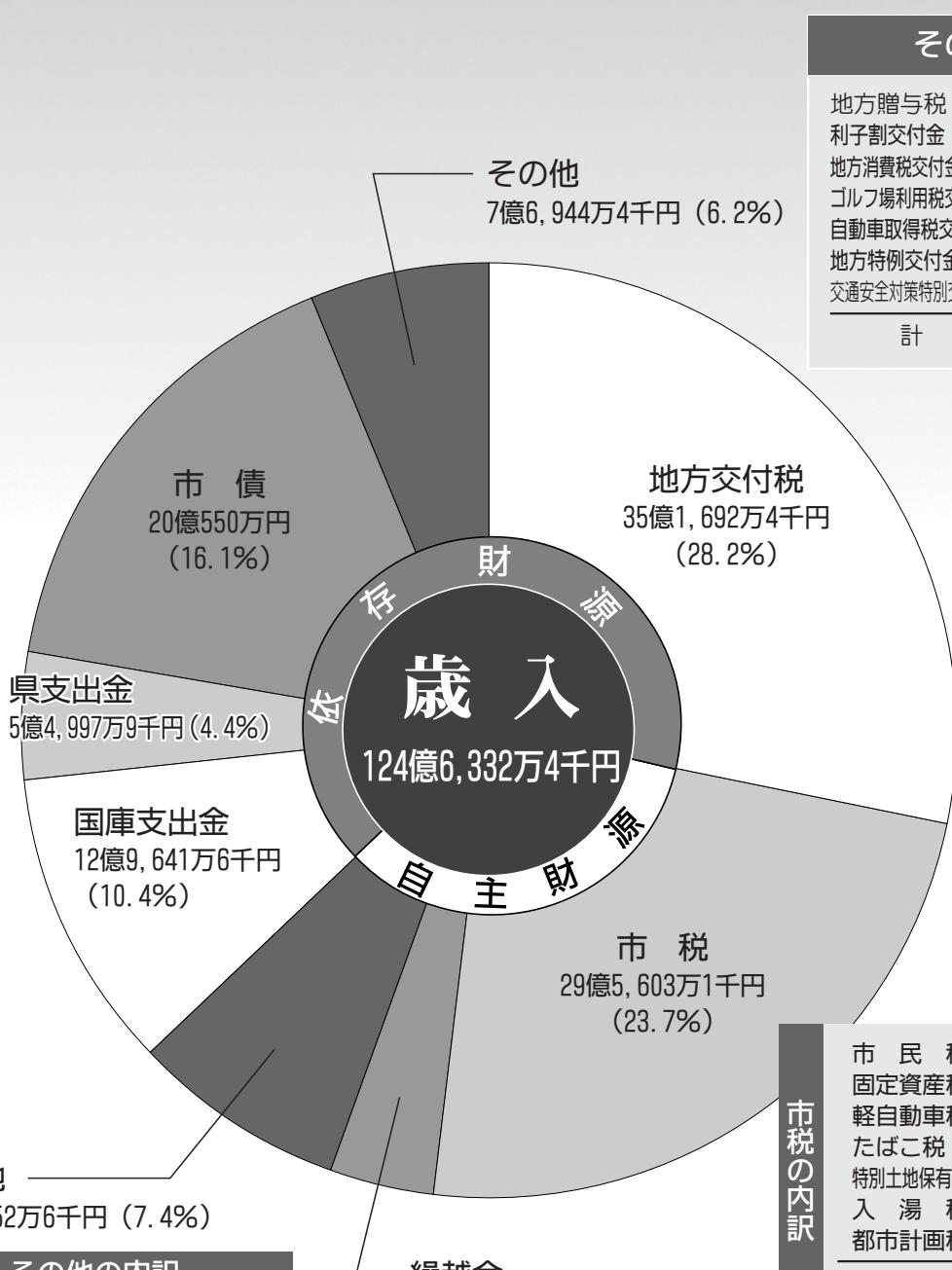
霞ヶ浦などの湖沼の水質改善を目指した湖沼法の施行から約20年が経過しますが、霞ヶ浦・北浦・常陸利根川の3水域すべてにおいて、COD値（化学的酸素要求量）、全窒素及び全リンがいずれも水質環境基準に達していないどころか、逆に悪化傾向にあります。

また、今夏は、北浦にアオコが異常発生しました。この原因は例年に比べ雨が少なく、北浦への流入河川の水量が減少したこと、さらに高温による水温の上昇で、窒素やリン等による富栄養化が進み、植物プランクトンである藍藻類が異常発生したものと思われます。

このような事態の中、北浦水域の水質改善を行うには、一つの自治体では自ずと限界があります。このため、国・県の積極的な対策の下、関係機関が一体となって真摯に取り組む姿勢が必要であります。そこで、本市議会は、北浦の水質を改善させるため、下記の諸対策の実現を強く求めるものです。

記
 1. 当面急がれる対策
 (1) 私たちの命の水を守るために、アオコ回収船を使ったアオコの除去
 2. 恒久的な対策
 (1) 北浦の汚泥浚渫
 (2) 富栄養化の防止及びまり水（死に水）対策
 ・霞ヶ浦導水事業を推進し、那珂川の水を北浦への導水
 ・霞ヶ浦・北浦の水を外浪逆浦へ交互流入させるための常陸利根川と鶴川への水門の設置
 ・流入河川の里山対策（落葉樹を里山に植え保水力を高める対策）
 (3) 常陸川水門の弾力的運用
 (4) 水質改善に関する規制の強化
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
 平成16年9月21日 茨城県潮来市議会

一般会計 121億906万2千円



その他の内訳

分担金及び負担金	2億7,319万1千円
使用料及び手数料	1億6,755万5千円
財産収入	763万1千円
寄付金	2,034万円
繰入金	3億1,401万6千円
諸収入	1億3,879万3千円
計	9億2,152万6千円

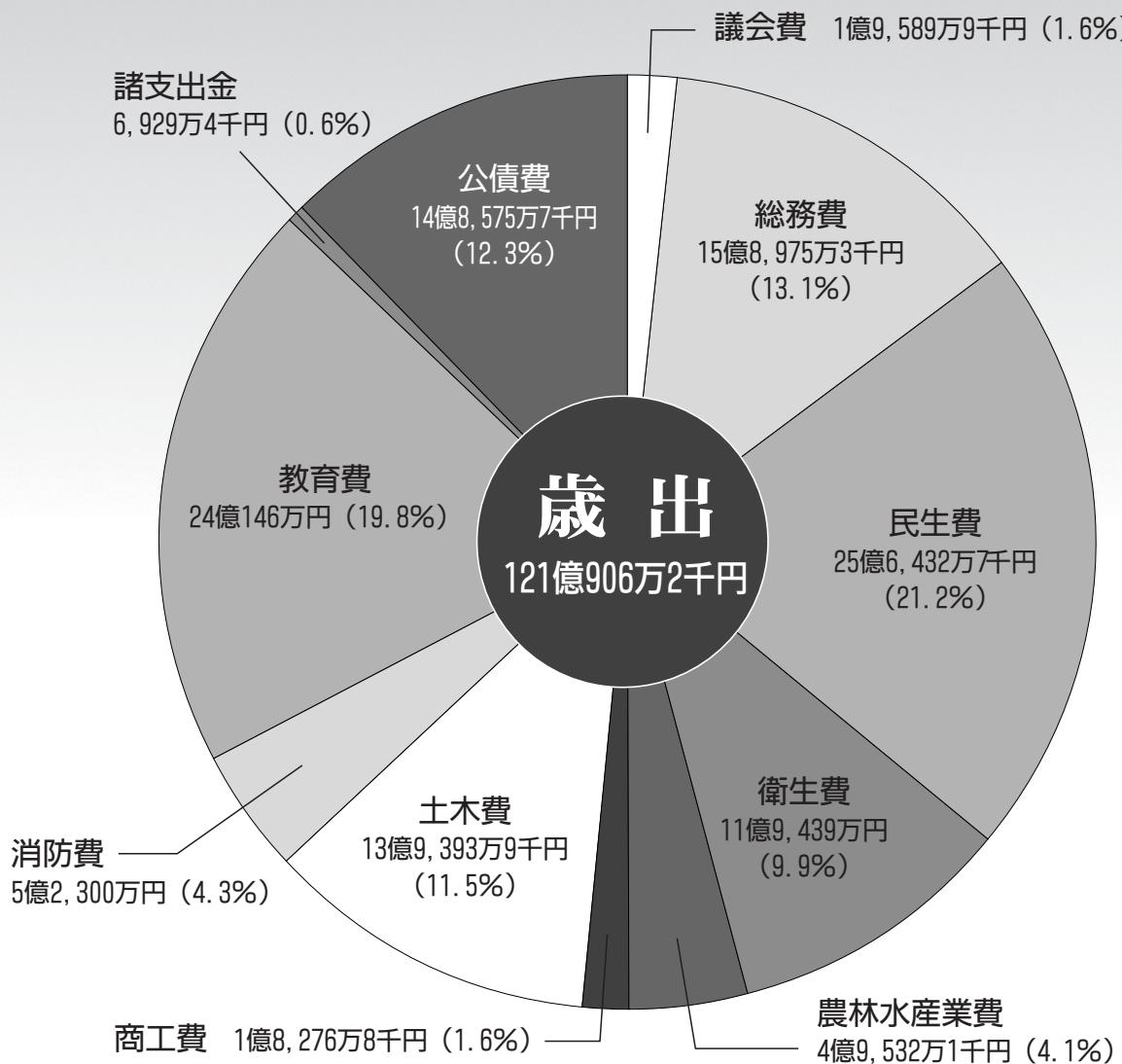
その他の内訳

地方贈与税	2億3,092万9千円
利子割交付金	2,793万6千円
地方消費税交付金	2億5,150万7千円
ゴルフ場利用税交付金	3,973万8千円
自動車取得税交付金	1億920万3千円
地方特例交付金	1億75万3千円
交通安全対策特別交付金	687万8千円
計	7億6,944万4千円

市税の内訳

市民税	10億2,532万2千円
固定資産税	14億9,653万9千円
軽自動車税	4,079万6千円
たばこ税	2億670万6千円
特別土地保有税	130万円
入湯税	1,266万9千円
都市計画税	1億7,268万6千円
計	29億5,603万円

平成15年度決算を認定



会
計
別
決
算

単位：円

区分	歳入	歳出
一般会計	124億6,332万4,971円	121億0,906万2,726円
特別会計	83億3,020万7,354円	81億3,208万1,210円
・国民健康保険	32億9,950万6,409円	32億1,012万5,963円
・老人保健	24億9,424万7,396円	24億1,328万2,138円
・下水道事業	15億2,332万6,664円	15億0,462万5,918円
・農業集落排水事業	5,412万8,995円	5,019万4,285円
・介護保険	9億4,774万1,999円	9億4,304万7,485円
・墓地事業	1,067万7,600円	1,067万7,600円
・公平委員会	57万8,291円	12万7,821円
企業会計	7億6,828万6,083円	10億3,305万5,705円
・水道事業 収益	6億5,459万9,946円	7億2,546万2,073円
資本	1億0,190万8,000円	2億9,055万8,873円
・工業用水道事業	1,177万8,147円	1,703万4,759円

一般通告質問



須田 富次 議員

し、親子の触れ合い、親同士の情報交換の場として、子供の健全な育ちの場の提供をしているところです。昨年度末実施しました一〇〇人に対する子育てのニーズ調査の結果、また乳幼児を持つ母親との懇談会、策定委員会での意見を取り入れた次世代育成支援行動計画を策定し、子育て環境の整備を図ってまいります。

(再質問)

三番目、四番目の子供さんに対して奨励金を実施しては。

佐野市民福祉部長

全国的な傾向である少子化、潮来市でも同様に子供の数は、年々減少している状況です。この背景には、核家族の進行や親の子育てへの不安感、仕事の両立に伴う負担感の増大、また育児休業が容易に取得できることを初めとした雇用環境などさまざまな要因があります。少子化対策の一環としてどのような対策をお考えか。

第二・三子に奨励金を支給している他市町村を調査したところ、奨励金によって出生率が上がったということはなかつたそうです。優遇策とかではなく、今現在進め実しています学童保育等の施策を充実していくことによつて少子化対策を図つていきたいと考えております。

生活保護について

生活保護とは、国が国民の健康

所・保育園での延長保育、小学生低学年生対象の学童保育、幼稚園での預かり保育などを実施し、仕事と子育ての両立支援を図つております。また、家庭において乳幼児を子育て中の母親への支援としまして、子育て広場を週三回開催

ます。一方で、その辺はいかがなものか。生活保護を受けている人は何人か。

前島社会福祉課長

子育ての環境整備を図る

また、母子家庭で補助を受けている方は何人か。

児童扶養二七七世帯

前島社会福祉課長

生活保護世帯は、八月末現在、

一五四世帯、二三三人です。生活

に困つた方が相談に見え、その能

力・資産の調査、収入の状況、扶

養義務者への調査等、法に基づい

た調査を行い、保護の要否判定を行つております。生活保護決定後も、地区担当のケースワーカーの定期的な居宅訪問により実態把握、生活指導、個々のさまざまな相談に応じております。生活保護世帯の約半数は一人暮らしの高齢世帯ですが、稼働年齢であつて病気のため働きずに保護になつた傷病世帯、また、子供が小さいため働けない母子世帯など状況を見ながら病院、ハローワーク、関係機関等との連携を図り、場合によつては自立に向け就労指導を行い、適切な保護に当たっております。

現在のこのような経済社会状況では、生活保護に対する住民の視点は厳しいものがあり、誤解を招かない

生活警察署の管内の事件は、潮来市が6割を占め、余り大きい声では申せませんが、緊急時に交番で話を聞いたりしています。

麻生警察署の管内の事件は、潮

来市が6割を占め、余り大きい声

では申せませんが、緊急時に交番

で話を聞いたりしています。

潮来交番警察官の増員を

確認をとつております。また、周

りの方から偽装離婚ではないかな

ど通報があれば、地区担当の民生

委員さんにお願ひし、周りからの

調査や場合によつては本人を呼ん

で話を聞いたりしています。

そこで、地元住民は非常に困ると嘆いています。市長は早急にこの潮来交番の警察官の増員を麻生警察署長に要請していただきたいと思います。増員という言葉を申し上げましたが、麻生警察署管内でやりくりをし、事件の少ないところから回していただくというの

が、私のいう増員であります。

一般職を減らしても

私ども行政は、区長を中心

とした防犯体制の強化という中で

一つの組織をつくらせていただき

て頑張つてゐるところです。平成十三年度から十五年度三年で、

茨城県警では五〇五人ほど警察官

を増員をしているということで、

國の方では警察官の数を、一人当たり二四〇〇人と想定をしていま

す。茨城県が現在三〇五二人、潮

来市では二八一四人で、國の計画

から見ますと若干まだ警察官の数

は足らないなど感じています。何

年か前に、日の出の区長さん方と

日の出地区の交番の設置を望んでいたり、茨城県警本部長の方にも要

請をし、県警の方では移動交番と

いう対処をしていただいたところ

です。安心、安全なまちづくりを

進めることが政策の基本であります。神奈川県の松沢知事が選挙のマニフェストの中で、「県の一般職を減らしても警察官の増員を」と掲げており、私もその考えは全く同じであります。県の方も一般職を減らしても警察官の数は増えずべきだと考えております。たゞ、潮来市長の立場では発言に限界があり、議会の皆さん方、また市民の皆さん方、そしてまた安協、警察の関連団体の皆さん方といろいろ調整をしながら、あらゆる機会を逃さずに警察官の増員の要望をしていきたいと考えています。

(その他の質問)

◎生活改善策について

◎守秘義務の明確化について

◎手数料条例の見直しについて

私ども行はれては、区長を中心とした防犯体制の強化という中で一つの組織をつくらせていただき

て頑張つてゐるところです。平成十三年度から十五年度三年で、

茨城県警では五〇五人ほど警察官

を増員をしているということです。児童扶養手当認定時に制度の説明をし、また、年一回現況届け時に変わりがないことを本人から確認をとつております。また、周

りの方から偽装離婚ではないかな

ど通報があれば、地区担当の民生

委員さんにお願ひし、周りからの

調査や場合によつては本人を呼ん

で話を聞いたりしています。

潮来交番警察官の増員を

確認をとつております。また、周

一般通告質問



大平 幸一 議員

ごみ処理広域化について

ごみ問題が世界で一番深刻な状況にあるのは日本であり、その理由は国土が狭いことに加え、年間六億トンという大量の物資が海外から流入し、この内五億トン近い物が廃棄物となっているからです。

日本では一日に一人当たり、約一キログラムとして、年間約五〇〇〇万トン（東京ドーム約三五杯分）のごみを出しているといわれています。産業廃棄物にいたっては、その八倍といわれておりますから、気の遠くなるような量です。

この様にごみ問題は我々にとって最も身近な環境問題であります。市町村のごみ処理においては、ごみの増大や多様化への対応やリサイクル推進等による財政負担の増大、そして最終

が現実だと思います。潮来市において昨年、行財政改革調査特別委員会が市長に提言してお

り、その中で「廃棄物処理に関する財政負担は大きく業務の見直しと広域化必要とされており」提出時より一年が経過しておりますが、どのように進めて

いるか伺います。

検討する

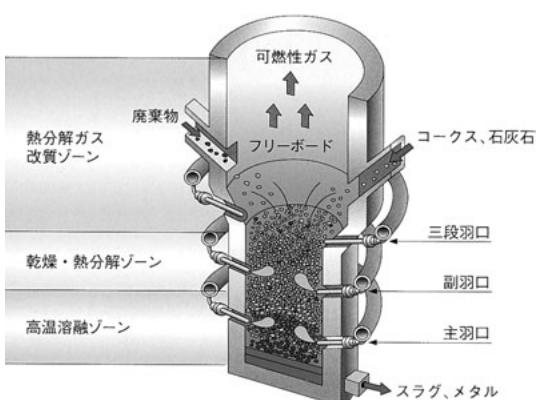
鈴木環境経済部長

潮来市としても今後単独でのごみ処理施設を運用することは、非常に厳しいと考えております。麻生環境美化組合、鉢田町、あるいは茨城県が示した広域処理計画、これらをもとにしまして、長期的な視野に立った方針で検討してまいります。

溶融炉について

鹿行広域市町村圏事務組合では、ごみ処理の広域化というのも議論の対象に上げ、中期の計画に入れたいと考えています。

ガス化溶融炉



1600°Cの高温溶融ゾーンで幅広いごみを全量溶融し、大幅な減容化を実現します。またこのゾーンの滞留時間が長いので、均質で高品質のスラグが得られます。

高温還元雰囲気により、重金属が含まれない安全性の高いスラグが得られます。

この処分場は、茨城県の最終処分場であり、潮来市として平成十五年、一五〇〇万円出資金を出してあります。今後、どのように利用していくか伺います。

エコフロンティア笠間について

鈴木環境経済部長

潮来市が一年間に処理する委託の焼却灰、不燃残渣、溶融スラグは、約二〇〇〇トンです。エコフロンティア笠間への処理委託予定量は、全体の十五%です。潮来市の灰溶融施設も稼動してから八年が経過しており、維持費用も増加傾向です。

今後、エコフロンティア笠間の溶融施設と最終処分場は、潮来市の一般廃棄物処理計画においても重要なウエートになつていくと考えております。

灰溶融炉の年間の経費と溶融炉を使わず、灰の状態で処理した場合の経費を伺います。

年間経費は
二億二〇〇〇万円

鈴木環境経済部長

灰溶融炉の年間経費は人件費を含んで、約二億二〇〇〇万円をかかっております。次に灰の状態で処理した場合、発生量から単純にかけてみると、二〇〇〇トン×三万四〇〇〇円で六八〇〇万円となります。

今後利用する

鈴木環境経済部長

金額を見ても一億五〇〇〇万円位の差があり、環境面を見ても何ら問題はないので、今後潮来市として、灰の状態で処理し

（その他質問）
◎「ごみ集積所の小動物対策の案内について

◎今後の廃棄物減量目標と達成方法について

ここで溶融炉の年間の経費と溶融炉を使わず、灰の状態で処理した場合の経費を伺います。

鈴木環境経済部長

この施設も開始から八年がたっております。その間の科学技術の著しい変化に伴ない、生活環境も大きく変化しております。そういうところを鑑みれば、メリット・デメリットを十分精査し、整合整理し、方向性を示していただきたいと考えております。

たら良いのでは。

一般通告質問



篠塚 貴美子 議員

すか。給食を残さない指導と残材の有効利用は考えていますか。食材選びについて何よりも安全な給食を考えていますか伺います。

給食と食について

子供たちが健康で元気な生活をする源は、食にあります。給食についてどのような意識をもっているのか。栄養士が一日当たりの栄養のバランスはもちろん、子供たちと会食し食事状況を把握して考えます。

しかし、毎日の食事の残材が三〇〇キロ以上です。特に、煮物・野菜のあえ物等は残ります。手取り早く取れる食の環境がどこにもあり、この変化は心や体の成長に大きく影響してきます。家庭や学校で基本的な食育に関することが育まれているのでしょうか。次の点についてお聞きします。

食の大切さについて子供たち・保護者への指導をしていま

食に関する指導を図る

内田教育次長

望ましい食習慣を身につけていくため、給食時間や教科、特別活動において指導を図り、学校・家庭・地域が連携し意識の高揚を図っていきます。残材については、今後の検討課題とどうらえています。食の安全については、国・県・県学校給食会から情報指導を受けています。

将来的なリーダー

矢幡行財政改革推進室長

将来を考えたとき、生活者の視点で日常の中に多くの問題や課題があります。学習研修の場を提供し、市の政策反映していくことが大切であり将来的なリーダーの育成を図れればと考え設置したものであります。

現在のところ決っていない

矢幡行財政改革推進室長

相談員制度、設置場所、専門場所については、決つておりません。

ITAKOクオリティーウィメンズネットについて

Dメスティックバイオレンス(DV)について

で、九三万円ほど、国の方で七〇万円、一六〇万円の予算規模になります。

DVの取り組み状況はどうですか。相談員は、決りましたか。設置場所、専門電話等についてお聞きします。設置場所については、適切な相談場所であるようお願いします。DV防止法の制定や各自治体の支援体制の高まりにより相談者も声を上げられる体制を早急に確立するよう考えてています。

(その他の質問)
◎中学生派遣事業について

(再質問)
内田教育次長
朝食を取らないで学校に来る子もいるので、食育の指導を考えてください。

十七年度から国の方で栄養教諭の採用を考えているので、食に関するコーディネーターの役割を期待します。

内田教育次長
十七年度から国の方で栄養教諭の採用を考えているので、食に関するコーディネーターの役割を期待します。

矢幡行財政改革推進室長
矢幡行財政改革推進室長
内閣府奨励事業の予算で行ないますが、補正予算の中



女性講座

一般通告質問



長谷川 幸雄 議員

箕輪総務部長

起債償還に充当

目的税ですので、下水道特別会計と同じくすべきですが、この税金で今までの上下水道の起債償還金に充当しています。市街地の将来構想の策定ですが、

都市計画法の事業認可をとり、当市のマスター・プランと調整を計り、関係市民の意見も聞き進めていきたいと思います。

水の浄化について

今年度から牛堀地区の市街地に、都市計画税二五〇〇万円が課税されていますが、目的税であるので、原則的には使途を明確にすべきものなので、決算認定時に報告すべきと考えます。

米島への排水機場の設置

根本企画財政課長

前川の流れを作る流末はどこに想定しているのか。また、大型排水機場の設置場所はどこに想定しているのか。

豪雨等の災害発生が生じた場合、堤防の高さはYP十一・九mとのことです。この高さを街地の将来構想の策定ですが、

豪雨等の災害発生が生じた場合、堤防の高さはYP十一・九mとのことです。この高さを越す状況時の対応は。

地域防災計画に基づき対応

根本企画財政課長

護岸提整備対策は、河口部より、大洲閘門間の約三・一kmです。平成三年の時はYP十二mを越える状況でした。床上浸水二戸、床下浸水二戸でした。

災害発生の対策としては、地域防災計画に基づき対応します。

アオコの発生とその対策について

今夏、潮来市の上水道の取水口付近のアオコの発生が、ひどかった。その原因是、水道水として何ら影響はないのか。

特定できません

鈴木環境経済部長

通常の流れは、前川水門の方に流れています。検討委員会等の意見を尊重して、前川の河川部分と延方干拓地の南部幹線用水路の一体的利用というような

観点から、南部幹線用水路の河川化と米島側への排水機場の設置という考え方を持つています。

生活関連施策を充実するため、事業は、財政的に無理であるなら計画を立てて公表すべきと考えるが。

橋本水道課長

水道法で定められた基準内の水にして、配水しています。県から一八・五%、潮来市の浄水場から八一・五%の割合で、ど

ちらも北浦からの取水源としています。

逆水門関連について

この地域の水質も悪化の原因の一として、逆水門の開閉が話題になっているが、その反面、塩害の防止、洪水防止、工

業地帯への工業用水と大きな役割を果たしているが、工業の技術面も四〇年前よりは進歩している訳なので、工業用水の使用量も変化していると考えられる。水質悪化につながらない、

もどす水門管理を協議要望できないか。

ボランティアグループと連携を図り一層努力する

鈴木環境経済部長

行政としては、湖沼水質保全計画に基づき、国・県と共同歩調をとつて、啓発活動を中心に行、七市町村の水質レスキュー隊、家庭排水浄化推進協議会三七名を構成し、主に下水道事業の普及啓発を行なつております。今後、民間ボランティア団体とも連携を図りながら、一層努力するつもりです。

八月と十二月でそれぞれ十七回です。水位が、YP十一・五mで開け、YP十一・〇七mで閉じる方法です。

水の浄化民間グループについて

民間ボランティアの方々が、水の問題に各種各様に取り組んでデーター等を送ってくれます

が、潮来市でも専門グループを設けて、この地域の中核となり活動すれば、データーの正確性など大きな成果が上がると思うが。

年間八二回、月六・八回

香取農政課長

昭和四二年に完成しました農工両全を目的とした逆水門の開閉管理は、国土交通省が行なっています。平成十五年度の管理実績は、年に八二回、月に六・八回です。回数の多い月は

一般通告質問



高塚 直 議員

福祉ゾーンとして活用

箕輪総務部長

八代小学校の跡地利用構想と
いうことにつきましては、前回
の議会の答弁のとおり福祉ゾー
ン利活用を図つてまいります。

至つてないとすれば、何年ころ
を目途にしているのか。

地域の意見を聞いて

箕輪総務部長

地域の皆様、特に高齢者の
方々、PTAの代表者、区長さ
ん、地元議員さん等を含め協議
をして、それから議会の皆様に
このように利用していきたいと
いう様な計画になつております
ので、今しばらくの間、お待ち
いただきたい。

点をお願いしております。金額
は、一校年額二九万四〇〇円
であります。機械警備でござい
ますから、異常の発生が会社の
方にあつた時に、担当官が出向
いて調査を行うことになつてお
ります。

空き校舎に対し、諸団体か
らの陳情・要望がたくさん来て
おりますが、計画外の利用がで
きる教室は早く利用していただ
き、無人の校舎にしない方法
も、一つの安全対策ではないか
と思いつのでご検討をお願い
いたします。

この関係の視察は

昨日、少子化による空き校舎
の有効利用として、他の市町村
にも福祉を目的とした施設が多
く見受けられる様になつており
ますか。

昨年九月、八代小学校跡の質
問に対し、「かすみ保健セン
ター」と一体化の中での「高齢
者のための施設」「障害者のため
の施設」すなわち福祉ゾーンと
しての利用以外は私も考えてお
りません。という市長からの答
弁を頂きましたが、一年を経過
した現在、その後の利用目的は
継続されていると思いますので
お伺いいたします。

実施している

箕輪総務部長

担当職員間の中では、見学等
を実施している。市長、助役、
その他関係する職員の中で、そ
ういう施設を見学してきており
ますから、その話を聞きなが
ら調査しているところです。

空き校舎の管理は

箕輪総務部長

四月から空き校舎となつてい
るが、その後の管理について
は、警備保障会社に委託してい
ると思いますが、何回くらい巡回
しているのか。長期間放置して
おくことは、青少年の犯罪の温
床になりかねないと考えられる
が、この点について伺う。

建物総合共済保険に加入

箕輪総務部長

保険については、建物総合共
済保険に加入しており、八代小
学校校舎につきましては、年間
四万二四〇〇円です。

(要望)

いざ着手しようとした時、文
部科学省から厚生労働省管轄の
目的に変わる訳ですので、手続
等を早めにして置くようお願い
いたします。

目途は何年ころか

箕輪総務部長

もとに検討がなされたのか否
か。

答弁を頂いた後、利用計画を
その段階に至つてないのか。

私感を申し上げますが、高齢
者と障害者の方々はバリアフ
リー等を考えると、一階の利用
がよろしいのではないかと考え

利用目的は内定していても、
箕輪総務部長

委託先であります、綜合警
備保障で校舎の見回り、火災報
知機の鳴った時の出動、この二

点をお願いしております。金額
は、一校年額二九万四〇〇円
であります。機械警備でござい
ますから、異常の発生が会社の
方にあつた時に、担当官が出向
いて調査を行うことになつてお
ります。



一般通告質問



塚本 誠一 議員

なることで、予算の確保と計画期の現実性を保障しているということではありません。変更、中止を見込む事業は、現在のところありません。特例債の執行額は、八四億円の中の三七%を使用しています。

合併後の街づくりは計画通り進んでいるのか

合併建設計画では、新町の迅速な一体化と老朽化のため早急に整備するものとし、平成十六・十七年に建設の予定であり、建設検討委員会でも答申しているが、今後の方針を伺う。また、市長は合併当初から潮来・牛堀の合併はなく、更なる合併も視野に入れなければならぬと発言しておられました。が、今後潮来市が目指す方向性はどこと結びつけるのか、何年頃を目指しているのか伺う。

周辺自治体の動きを
見極めてから

潮来市が誕生し、早くも四年目を迎えました。何回も協議を重ね街づくり建設計画を策定しましたが、国の構造改革、三位一体改革に伴う交付税の大額な削減等により、地方自治体の財政も見通しがつかないという現状の中、合併建設計画に沿った事業の進ちょくはできていると考えていますか。また、建設計画で策定した事業で、変更もしくは中止を見込まざるを得なくなつた事業はあるのか。特例債はどの位活用したのか伺う。

今泉市長

國の制度改正のため地方自治体が予想できなかつた状況に追い込まれ財政悪化から先送りの判断をしました。当市は現在三万二〇〇人弱であります。運営ができるのか不安を持つておられます。新しい市が隣に誕生する予定であり、また鹿嶋郡内においております。合併建設計画は、合併特例法に基づき今後の指針に

ても法定協議会の設置もされておりません。周辺自治体の運営を将来模索するのか、十分意見を頂き、潮来市の進むべき道を考え、庁舎の建設も今後の話し合いの過程で進めるのか断念か、考えが自然に出てくるだらうと考えています。

(再質問)

合併特例債活用は十年で、あと六年です。庁舎建設と今後の本市の進むべき方向性について早めに対応策を講じなければならないのではないか。また、特例債八四億円を活用した場合、起債制限比率はどの位になるのか。財政計画を立てるべきと思うが。

私共だけの決断を発表する訳にはまいりません。周辺自治体の動向を見極めるため、もう少し時間を見かねば判断できないだろうと考えています。

箕輪総務部長

八四億円全部借りられる状況はないと考えています。今のところ、何年で何%と発表できる段階ではありません。財政計画については、補助金の削減、税源移譲で税がどの位入つてくるのか分らない状況ですので、財政計画を立てるのは非常に困難性があります。

地域審議会を設置し進行管理をやつている自治体が始まんどです。が、当市では設置されておりません。しかば、建設計画の進ちょん。大塚野隧道工事が十三ヶ月で竣工するが、誰がやるのか、そのための機関設置を望むが。また、建設計画の変更はないとのことで七年度に四億円で整備する計画になつてゐるが、やる気配がない。大塚野区民の大きな願いでもある。やるのかやらないのか。

（再質問）

企画財政課を中心となり、委員会を作り、皆さんと協議をしていただきたい。

箕輪総務部長

大塚野隧道工事については、地権者の同意が得られないため、現在に至っております。

商業観光の振興策は

潮来の商業観光の衰退は、目に覆いたくなるような爛々たる状況である。市長は、地産地消の勧め、もてなしの心、特産品の開発等々訴えてきたが、残念ながら元気が出ない。今後の商業、観光の活性化の明確なビジョンを示してほしい。

鈴木環境経済部長

規制緩和や権限委譲等、金をかけずに地域経済を活性化させ、雇用も創出できるような政策を取り入れていきたいと考えております。

（再質問）

既存商店街活性化のため、再開発も視野に入れた地域再生計画を取り入れるための研究を求める。

鈴木環境経済部長

今後、詳しく勉強していきたい。

(その他の質問)

◎インター周辺の企業誘致の取り組みについて

◎名譽市民の顕彰と市民への広報について

◎小堀進画伯の寄贈予定の作品の受け皿作りと小堀・村山画伯の記念館の提案

総合計画に引き継いで

箕輪総務部長

平成十五年度改定した最上位計画「第五次総合計画」に引き継がれております。合併建設計画は、

合併特例法に基づき今後の指針に

合併後の街づくりは計画通り進んでいるのか

計画通り進んでいます。

（再質問）

合併建設と更なる合併は

（再質問）

合併建設計画では、新町の迅速な一体化と老朽化のため早急に整備するものとし、平成十六・十七年に建設の予定であり、建設検討委員会でも答申しているが、今後の方針を伺う。また、市長は合併当初から潮来・牛堀の合併はなく、更なる合併も視野に入れなければならぬと発言しておられました。が、今後潮来市が目指す方向性はどこと結びつけるのか、何年頃を目指しているのか伺う。

一般通告質問



柚木 嶴議員

適正な利用者負担を前提に、民間事業者を初め福祉関連団体やNPO法人等の非営利団体、あるいはボランティア等の皆様との連携による生活の交通システムの構築と、視野に入れながら、将来的な課題として検討を進めたい。

る上で、防犯灯の占める役割は大きいと考えます。今後の防犯灯を設置しやすい環境づくりを推進するためにも防犯灯に対する予算額を引き上げるべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

十分精査をしながら
計画的に設置する

通学のみでなく高齢者の利用、利便性を視野に入れた対策の検討を早急に望むが。

防犯灯は四四一四箇所、電気料金は年間九二六万円と多額になつており、市の負担も年々増えてい

大生原地区の送迎支援は

大生原地区は来年四月から繁昌線、白浜線の路線バスが廃止になると、完全にタクシー利用に転換しなければならないため、小・中学生の通学を含めた住民生活に大きな支障となる。乗客の要望に応じて適宜コースを変更する乗り合いタクシーやボランティアによる送迎支援が早急に必要であり、今からその対策を検討すべきと思

大生原地区の路線バス原止は住なう高齢者等の利便については、市全体としてとらえていかなければならぬと考えます。今後はボランティアも含め、利用しやすい送迎システムを検討してまいりたい。

調査結果については、全てにお応えすることは出来にくくい状況ですが、十分精査をしながら計画的に設置していきたい。

当面は通学手段の検討で

根本企画財政課長

交通手段が無くなる前に、周到な準備と住民への説明を願いたい
防犯灯新設の予算増額を
市で実施された防犯灯及びカーブミラーの必要箇所調査結果を踏まえ、区長に将来的な計画を提示して頂きた。今年度の防犯灯新設工事費は十九万円であり、地域住民からの要望に対しても対応できる金額ではない。防犯や明るいまちづくりという施策を進めることで、住民への説明を願いたい。

交通手段が無くなる前に、周到な準備と住民への説明を願いたい

防犯灯新設の予算増額を

ブミラーの必要箇所調査結果を踏まえ、区長に将来的な計画を提示して頂きたい。今年度の防犯灯新設工事費は十九万円であり、地元住民からの要望に対しても対

久保木総務課長
事前の説明会で細かに説明したつもりですが、再度説明いたしました。維持管理上の点検は各区でやつて頂いており、修繕等は市で実施しています。東京電力に点検を依頼することは、考えられないと思います。

小児科医の増員は難しい状況

佐野市民福祉部長
①なめがた総合病院では、内科、
小児科の医師は現在四名で、休

小児救急医療体制の強化について

ぞれ一名の体制で、平日診療を終えた医師が対応しているため、時間延長は無理とのことです。

再質問

②電話相談開設の周知方法は、
③平成十七年四月から鉢田消防本部で通信司令室が開設するようですが、どう改善されるのか伺う。

佐野市民福祉部長

②市の広報紙やインターネットで周知していきたい。

①夜間救急診療など二四時間体制に持つていけるよう要望しています。

今泉市長

今まで各消防署で受信してきたものを集中的に管理し、迅速な対応が可能になるなど、大幅に改善されると説明を受けている。

(再々質問)
防犯灯の新設予算アップについて、市長の見解を伺いたい。

日及び夜間診療については、小児科医が当直の場合には診療が可能です。この一～二年の間は増員計画はないとのことです。

一般通告質問



吉川 俊 議員

消防体制の充実強化を

消防団は地域防災力の要としての期待が大きい。特に地震、風水害には、被害を最小限に食い止められるのは地域に密着した消防団のマンパワーに大きく左右される。消防団の活動は、先の新潟や福井の集中豪雨で大変注目された。消防団員が減少すれば、高齢者を中心に多数の犠牲者が出るなど対応に影響が出かねない。

「天災は忘れたころにやつてくる」という警句で知られる物理学者寺田寅彦氏は、「『地震の現象』と『地震による灾害』とは区別して考えよ」と随筆集で書いている。『現象』は人間の力はどうにもならないが、『灾害』は注意次第で軽減の可能性がある……と。

市の消防団員数は、条例定数

により七百七十人となっているが、平成十六年八月二十五日現在、実員六百九十八人である。市は現在、消防団の統合と団員の削減を推進中である。厳しい財政事情ではあるが、自然災害等が発生したとき身近で最も頼りになるのが消防団。今こそ知恵を絞って消防団体制の整備充実を図るべきと考えるが、伺う。

市は現在、消防団の統合と団員の削減を推進中である。厳しい財政事情ではあるが、自然災害等が発生したとき身近で最も頼りになるのが消防団。今こそ知恵を絞って消防団体制の整備充実を図るべきと考えるが、伺う。

六百五十人体制に統合縮小

久保木総務課長

条例では、十五分団、四十七部、七百七十人となるが、来年四月より十分団、三十七部、六百五十人体制に統合します。この体制の中で、自然災害等については知恵を絞っていきたい。

(再質問)

他の市町では一人暮らしの高齢者宅を訪問、防災指導などを女性団員が行い活躍している。

その数も年々増えている。地域コミニティーの構築や男女共同参画社会の実現のためにも女性消防団員に期待してはいかがか。他市では、女性職員が消防隊を結成し活動している。女性消防隊の結成について伺う。

久保木総務課長

潮来祇園祭りの経済効果は

久保木総務課長

潮来祇園祭りは、天安時代の田楽や神楽がもととなり、元禄時代に徳川光圀の命により素鷦熊野神社が設置され、文治4年に山車が供奉されたのが始まりである。祇園祭りの状況は、地元新聞に掲載されたが、「おはよう茨城」でのテレビ放映も効果が大きい。多くの見物人がいたが、祇園祭りの経済効果と、観光資源や産業振興に繋げる方

が、平成十六年八月二十五日現在、実員六百九十八人である。市は現在、消防団の統合と団員の削減を推進中である。厳しい財政事情ではあるが、自然災害等が発生したとき身近で最も頼りになるのが消防団。今こそ知恵を絞って消防団体制の整備充実を図るべきと考えるが、伺う。

女性消防団については、潮来町の時代にある地域で組織し活

動していたが、後継者がなく廃止になり、その後、常設消防署が設立され現在に至つております。現在は男性のみで活動しておりますが、引き続きこのまま岱で考えていくべきです。女性消防団は統廃合が進んでいます。女性の社会参加が岱で考えていくべきです。市職員は地域の消防団に入っているので、この体制で岱たい。

経済波及効果は大!!

鈴木環境経済部長

一日当たり二千八百三十三万円

が消費されたことになり、これを一世帯当たりに換算しますと一万六千円くらいになります。逆にこれを比較する意味で、平均年間生活者の所得割合からみる消費費用は、一万三千円でした。経済波及効果の大きさが分かります。また、行政がサポートすべきところは応援し、基盤づくりをしていきます。具体的な一例は、昼はワンデーブランの周遊ルートを楽しんでいたとき、夜は駅前と歩道等を活用し棧敷等を造つて食べ物や飲み物をセットにして区画を観光客へ宿泊を兼ねて販売するような試みはどうでしょうか。

鈴木環境経済部長

あやめ祭りでは、コンビニ弁当を食べている人をたくさん見かけたし「ウナギを食べさせてくれる店は」という質問もたくさんありました。弁当では、シルバー人材センターが「マコモおこわ」を販売しております。

水郷の特産品を使用した弁当をうなぎとまごを中心とした消費者ニーズに応えられるよう飲食店組合、旅館組合、弁当製造業者へ働きかけていきたいと思います。

「心に残るメニュー」づくりについて伺う。

策を伺う。

て、また、シルバー人材センターなどの「まごも弁当」などがあるが、さらに、広くアイデアを募り、新たな名物料理を生み出してはいかが。潮来独自のメニューがあれば話題になる。

「心に残るメニュー」づくりについて伺う。

(その他の質問)

◎住民基本台帳のネットワークについて

◎固定資産の評価について

◎「文化体験プログラム支援事業」について

發し「ウナギの街・潮来」として、また、シルバー人材センターなどの「まごも弁当」などがあるが、さらに、広くアイデアを募り、新たな名物料理を生み出してはいかが。潮来独自のメニューがあれば話題になる。

一般通告質問



今泉 利拓 議員

郷土資料室 展示ケースについて

これまでに、いくつ位〃展示ケース〃を整理したか。発注者は誰で、いくらかかっているか。

平成十三・十四年度に整備

内田教育次長

平成十三年度に四個。発注者は、市教育委員会。製作代は、三四万六千五百〇〇円。平成十四年度は、二個。発注者は、郷土史研究会会長山沢幸次氏。製作代は、二〇万円。

牛堀統合小体育館の雨漏り事故その後について

牛堀統合小体育館の雨漏り事故の原因は、設計ミス、施工業者の欠陥、手抜き工事ではなかつたのか。

設計ミス、欠陥工事ではない

内田教育次長

体育館新築工事が、梅雨時と重なり、天井部分に水分がたまり（結露）、それが落ちてきたということです。その後、雨漏りはしていません。

（要望）

業者に対し、工事を発注する市側は、厳しくチェックし、毅然たる姿勢を示すべきだ。

“潮来の水”について

”展示ケース”的発注について質疑があった。この事実が当事者に分つただけでも、何か心に響くもの（感じる事）が出てくるだろうと思う。

北浦にアオコが異常発生

北浦の汚れに原因があるのではないか。潮来市民の水道水源水取水口に、最も近い、水原地区の農業集落排水事業こそ、進めるべきだと思うが。

先ず、大生原北部の加入率を上げる事が先決

本宮建設部長

水の郷潮来と呼ばれる潮来に

とて、川や湖は、天がこの地に恵んでくれた宝、財産だ。水をきれいなものとして守り、後世に引き継いで行くのが、市長はじめ、全市民に課せられた責

海外視察は有意義

今泉市長

まちづくりを進めるためには、色々な所に参加し、視野を広めるという事は、非常に有意義である。今泉議員とは、海外視察についての認識が違う。平成七年から今日までの詳細な費用等については、答弁を控えさせていただく。毎年、予算を提案し、決算認定も得ている。

にはしたい。（更に七戸の加入が必要）工事費の分納についても検討はしたい。水原地区の皆さんに、農耕事業についてアンケートをという提案もあるが、今の所、アンケート調査をする性を考えはない。この問題については、市長とも良く協議し、方向性を出していきたい。

「百聞は一見に如かず」市長に視察を止めろとは言わない。行方郡町村会の視察が、何故毎年のように海外視察でなければならぬのか。日本国内の市町村を視察し、良い所を潮来の市政に生かす。これなら大賛成だ。

国内事情も、財政力も違う海外視察は、公費（税金）の無駄遣いだ。自重すべきではないか。

（再質問）

市長は昨年、国保税、保育料を値上げし、今年は、水道料、下水道使用料、ゴミ袋までも値上げした。市民に犠牲を強いておきながら、市長は、今年も力ナダへ出かけた。

市長は、昨年、国保税、保育料を値上げし、今年は、水道料、下水道使用料、ゴミ袋までも値上げした。市民に犠牲を強いておきながら、市長は、今年も力ナダへ出かけた。

議会議員活動日誌 (7~9月)

日にち	活動内容	参加議員	日にち	活動内容	参加議員
7月1日	高齢者クラブ研修 (~2日)	議長	8月18日	環境経済・総務委員会連合審査会	環境経済・総務委員
	まつり委員会	副議長・関係議員		潮来市人権尊重教育研修会	関係議員
4日	水防演習	議長	19日	総務委員会協議会	総務委員
5日	鹿行広域市町村圏事務組合議会研修視察 (~7日)	関係議員	20日	行方地域首長議長研修視察 (~27日)	議長
7日	建設委員会協議会	建設委員	21日	リバーサイドパーティーインうしほり	副議長
9日	鹿島灘海岸推進協議会	議長	22日	チャリティーカラオケ次郎長会	副議長
	環境経済・総務連合審査会	環境経済・総務委員		潮来音楽祭	副議長
	麻生地区交通対策協議会	議長	26日	建設委員会協議会	建設委員
13日	県北鹿行市議会議長会研修	議長	27日	教育福祉委員会協議会	教育福祉委員
	広報委員会	広報委員		議会運営委員会	議長・議会運営委員
14日	教育福祉委員会研修視察 (~15日)	教育福祉委員		全員協議会	全議員
	総務委員会研修視察 (~16日)	総務委員		委員長会議	議長・各委員長
15日	水戸神栖線・玉里水戸線期成同盟会総会	議長	31日	麻生地区交通対策協議会	議長
16日	国道51号潮来バイパス期成同盟会総会	副議長	9月2日	環境経済・総務委員会連合審査会	環境経済・総務委員
18日	小見川町民レガッタ	関係議員	5日	防災訓練	全議員
20日	教育福祉委員会協議会	議長・教育福祉委員	6日	議会運営委員会	議長・議会運営委員
	総務委員会協議会	総務委員	7日	政経懇話会	副議長・建設委員長
	潮来市防犯連絡協議会総会	議長		鹿行広域市町村圏事務組合議会	関係議員
21日	県民の森整備要望	議長	8日	潮来市議会第3回定例会 (~21日)	全議員
23日	全員協議会	全議員	12日	敬老会	全議員
	議員定数調査特別委員会	特別委員	18日	各市立小学校運動会	地元議員
	広報委員会	広報委員		全国おどりの響演	全議員
24日	日の出地区祭礼	関係議員	23日	戦没者慰靈祭	全議員
25日	延方相撲	関係議員	25日	全国市町村対抗交流レガッタ (~26日)	関係議員
	水原八坂神社祭礼	関係議員	29日	広報編集委員会研修視察 (~10月1日)	広報委員
28日	環境経済委員会研修視察 (~30日)	環境経済委員	30日	ライオンズクラブ1周年記念	議長・関係議員
	建設委員会研修視察 (~29日)	建設委員			
	兵庫県赤穂市議会来庁	議長			
	行方地域医療協議会	議長			
8月1日	硯宮神社祭礼	関係議員			
4日	行方郡町村会	議長			
7日	潮来祇園祭礼 (~9日)	関係議員			
	延方駅前盆踊り	関係議員			
8日	潮来・佐原・鹿嶋情報交換会	正副議長・議運委員長			
11日	環境経済委員会協議会	環境経済委員			
	長野県豊野町議会来庁	議長			
12日	あやめ祭り実行委員会	議長			

災害見舞金を送る

このたびの新潟県中越地震におきましては、心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

なお、潮来市議会としても、災害見舞金（120,000円）を全国市議会議長会をとおして送金しております。

総務委員会研修視察報告

期 日：平成16年7月14日（水）～16日（金）
研修地：大分県豊後高田市・湯布院町、熊本県菊池市
内 容：一村一品運動に代表されるまちづくりについて
参加者：委 員 長 杉本 俊一
副委員長 加藤 政司
委 員 笠間 丈夫
吉川 俊
塙 信一
塙本 誠一

研修内容

一村一品運動に代表される大分県及び福岡県、熊本県等元気な九州地域の中から、地域組織と行政の連携により崩壊の逆境をはねのけ、全国的に注目を集める「大分県豊後高田市」や、同じ「大分県湯布院町」、そして「熊本県菊池市」の視察を行った。

（大分県豊後高田市「昭和のまちづくり」）

人口19,000人、過疎、そして周辺地域の振興から取り残された豊後高田は、平成13年度起死回生の一歩として打ち出した「昭和のまちづくり」が、さびれきった商店街を、年間の観光入り込み約25万人を超える「奇跡の商店街」としてうまれ変わらせたのである。江戸時代から明治、大正、昭和30年代にかけて、国東半島一の賑やかな町として栄えて来た豊後高田。昭和30年代以前に建てられた古い商店街にスポットをあて、なつかしくもいとおしい昭和の街並み再現。古い対面商法ほどホスピタリティにあふれ、昭和文化のテーマパーク、「昭和の町」の魅力である。これを近代文化の中で将来的にもどう引き継ぐか、今次の大きな課題に立ち向かっている。

（大分県湯布院町 保養温泉地『由布院』の観光戦略）

NHKの報道番組「プロジェクトX：湯布院 療しの100年 戦争」でもお馴染みの大分県湯布院。人口は12,000人ながら、自慢の温泉は別府温泉について全国第2位の湧出量を誇る「保養温泉地」。年間の観光入り込み客は410万人、リピーター

率は実には65%。二つの旅館組合と観光協会、湯布院町の出資による湯布院観光総合事務所が、保養温泉地クアオルト湯布院の中枢を担う。「歓楽街は湯布院にはいらない。多くのボランティアやファンに支えられ、山や自然、風土と歩み文化、アートを楽しむ、住みやすい継続性のあるまちづくりこそが湯布院。住みやすい町ほど優れた観光地」を標榜し、それは今日の「湯布院音楽祭（昭和50年）」や「映画祭」、「辻馬車（昭和50年）」「湯布院潤いのあるまちづくり条例」の制定等、湯布院のアイディアと住民の実践はとどまることがない。

（熊本県菊池市 菊池市まちづくり条例）

潮来市とは、兼ねてよりボート競技で交流があった。観光入り込み客は225万人、豊かな温泉資源に恵まれながらも、観光客の伸び悩みや各産業の後継者不足、さらには商工会、観光協会等の脆弱化、市民ホスピタリティの低下等の中で、改めて「ふるさと菊池づくり」を、市民、行政が連携して進めているこうと、その規範づくりとして「菊池市まちづくり条例」が制定された。とにかく、ホスピタリティの根元である「あいさつ運動」の徹底ぶりや活発な議会活動には驚かされた。

古くから愛され続けた文化や自然、街並等を、常に変化し続ける時代潮流の中で護り続ける。目先の利益や変化には目もくれず、かたくなまでに貫き通した湯布院や豊後高田。今「癒し」という新たな時代潮流の中で次の大きなステップを踏み出そうとしている。無論、その実現には、強力なリーダーの存在や多くのファンやボランティアに支持を受ける個性的な文化や自然資源、観光交流や住むといった行動に際し、最も大切な「もてなし」が随所にあふれていることである。

「掘割を護った柳川」「水郷の街並みを残した佐原」に対し、かつての水郷潮来の情景を思い浮かべわくわくするのはなぜだろうか。行政は、きっかけづくりはできても対策には限界がある。かといって、住民主体というのは百も承知だが、今の閉塞感はなんだろうか。今、ナショナルミニマムからローカルオプティマムへと地方自立が要請されている。議会としても、施策提案と民意の醸成というものにも積極的に取り組まねばと改めて感じた視察研修であった。



環境経済委員会研修視察報告

期 日：平成16年7月28日（水）～30日（金）

研修地：和歌山県有田市・大阪府堺市

内 容：農業振興について

参加者：
委 員 長 藤崎 忠徳
副委員長 薄井 征記
委 員 篠塚貴美子
今泉 利拓
長谷川幸雄
小峰 義雄

研 修 内 容

今回の環境経済委員会の研修視察は、農業振興をテーマに行ってきました。

先ず、和歌山県有田市所在の有早和果樹園であります、昭和54年、7戸のみかん農家で立上げた会社で、平成12年11月1日農業法人化した。農業法人にするにあたっては、すぐれたリーダーの存在が欠かせないと強調していた。現在の規模は、柑橘類で温州みかん12ha、晩柑3haの15ha、その他個人生産物を仕入れ運営していた。現在の構成員は17名、資本金3,000万円、売上げ1億1,000万円、担い手も就業し、現在は安定した会社である。また、マルチドリップ栽培を始め、マルチ栽培を積極的に行い「高品質な個性商品生産」を取り組んでいた。「まるどりみかん」「味一みかん」「とれたて家族」「ハウスミカン」及び加工品100%果汁「味一しづく」は、光センサーを使用して高品質みかんだけを選び出し、今、珍しいチョッパーパルパー方式で搾った独特のみかんの風味を持った100%みかん果汁で評価も高く、大手百貨店、コンビニ、ホテル、レストラン、スーパー等で販売され、直接販売のリピーターも多くなっており、今後は加工商品開発

を積極的に行ない、青果とともにお客様本位の生産をめざすと目標を掲げていました。

次に、大阪府堺市の農業公園事業、ハーベストの丘でありますが、この施設はゴルフ場誘致の代替えで建設されたということでした。33haに7つの広場と小川のエリアに分かれ広大な素晴らしい施設がありました。駐車場も広く3,000台、大型バス50台のスペースがあり、年間入園パスポート大人2,500円、子供1,300円で年間何回も入園できます。日帰り入園料は大人（中学生以上）900円、子供（4歳以上）500円となっている。農産物直売所も年々売上げをのぼし、更に木曜日は米の感謝デーを設定した工夫も見られた。

蜂ヶ峯営農組合であります。蜂ヶ峯地域は、堺市の南部丘陵に広がる人口約16万人を有する泉北ニュータウンの南端に隣接する文字通り豊かな農地と自然環境に恵まれた数少ない地域であります。現在、昭和56年度から着手した圃場整備事業が完成し、約29haの圃場農地で脈々と営農活動を実施していた。主要作物は、水稻12ha（内採種用4.2ha）大豆転作4.2ha、観光農園3ha、花卉生産1ha、畑地9haが主な作付状況である。この組合は、100名で各班体制で組織された営農組合でした。昨年度は、13万人の方が足を運ぶという実績。注目されたのは、鉢ヶ峯作業応援団だった。同応援団は、138名登録されており、その内33名が活動している。市内ばかりでなく、近郊・都心からも足を運ぶという鉢ヶ峯組合作業応援団の魅力は凄いの一言でした。

今回の研修視察においては、潮来市の基幹産業であります農業の今後の展望を探究する良い機会に恵まれました。今回の研修視察の成果が出せますよう委員会として、頑張って行く所存です。



教育福祉委員会研修視察報告

期 日：平成16年7月14日(水)～15日(木)

研修地：山梨県山中湖村・静岡県富士吉田市

内 容：情報創造館の管理運営について

通所授産施設の概要等について

参加者：委 員 長 小沼 英明

副委員長 根本 又男

委 員 柚木 巖

大平 幸一

高塚 直

芝田 貢

研 修 内 容

今回の視察研修は、教育長・教育委員の皆さんと共に山中湖村情報創造館と富士吉田市地域福祉交流センターを訪問して参りました。

まず山中湖村情報創造館は、「全村公園化構想」の下、「山中湖文学の森公園」の中にある古民家の保存と活用を目的とした「俳句の館 風生庵」「蒼生庵」に隣接し、その開架棟は地元の桧・赤松を使用し木造建築の梁組を見せた建物で、研修室、学習室・情報コーナーは、明治時代に建築された山中尋常高等小学校を移設復元し、この4月に完成された物です。磁気タグ図書館システム、インターネットシステム、マルチメディア閲覧システムを導入し、またコンピュータ管理により24時間貸出し・返却が可能なシステムも取り入れられています。

休館日は12/31と1/1のみ、年中無休ともいえるでしょう。一番の特徴は、昨年の地方自治法の改正により、地方公共団体の公の施設管理について指定管理者制度が導入可能となり、特定非営利法人デジタル化研究会に運営を任せている点でしょう。人件費を抑え図

書、IT関係のスペシャリスト達が住民のニーズに答える事のできる素晴らしいシステムです。また書籍の購入についても住民が書店や本の流通会社を回り選定ツアーパーを行なう等、他の図書館に無い珍しい試みをしています。新聞・TVにも紹介され根本教育長が、TVで知った事が訪問のきっかけとなりました。18年4月に当市でオープンする（仮称）潮来市立図書館の管理運営に非常に参考になる図書館であったと、参加者一同が思った次第です。

続いて訪れた富士吉田市地域福祉交流センターは、知的障害者通所授産施設「たんぽぽ」、精神障害者通所授産施設「ひまわり」、地域福祉交流広場の複合施設です。「たんぽぽ」「ひまわり」とも定員は20名、自主生産種目としてベーカリー、紙漉き、陶芸、農園芸を行い、受託加工種目として館内清掃を委託され、また機能回復訓練も行なわれています。

当日まず紙漉きを見学、子供達が牛乳の紙パックからウチワや絵葉書を作る作業をしていました。私たち一人一人に「見て見て」と、得意げな子供達。正直余りの明るさに驚きを隠せませんでした。続いてベーカリーを見学、美味しいパンケーキを食べながら若い職員の明るさと熱意に再度感激しました。これらは地元のみちの駅や市立病院で販売され子供達の作った物は売れ行きも良いそうです。見学はできなかったのですがビオラのポット植付けでは年間300万円の売上があるそうです。一人当たり月2,000～14,000円の工賃が支払われるのもうなづけた次第です。

今後のわが市の良い目標ができ福祉行政へ微力ながらも反映させていきたいと思う所存です。



建設委員会研修視察報告

期日：平成16年7月28日（水）～29日（木）

研修地：茨城県岩井市

内容：センターモール事業について

参加者：委員長 大久保英雄

副委員長 内田 正一

委員 粟飯原治雄

中野 庄吾

須田 富次

研修内容

平成16年度建設委員会の研修視察は、潮来駅周辺の県道潮来佐原線の歩道整備及び電線類の地中化を目的としたリフレッシュ事業が茨城県岩井市センターモール事業と共通する点があることから岩井市を訪問致しました。

岩井市は、茨城県の南西部、首都東京から50km圏内に位置し東には国際的な科学技術、研究開発機能が集積する筑波研究学園都市があります。今後は、首都圏中央連絡自動車道やつくばエクスプレス等広域交通ネットワークの進展により一層の発展が期待されている市であります。

しかし、岩井市商店街も他の市町村の商店街と同じく消費者のライフスタイルの多様化などにより既存商店街の衰退や中心市街地の空洞化などがこのセンターモール事業計画の背景にあったようです。

岩井市では、このような状況の中、商店街振興組合等が中心となって、住民の積極的な参画による「活

力・個性・魅力あるまちづくり」の機運が高まり、県・市・商店街振興組合が一体となって、平成元年度から都市計画事業により整備区間は1.5mセットバックをして整備をするモール(街路)事業と商店街近代化事業を進めてきた。

このセンターモール事業の区間は全長で1.4kmである。それは5つのモール地区で近代的街並みと和風の街並みその他個性的な街路整備が進められていた。期間は1.4kmの内第1期事業が平成元年から始まり、500m区間が平成7年度に完成したところであった。第2期事業として平成13年度に340mが完成し現在は残る555mの区間にについて整備を進めているところであった。会場で事業の説明が終わった後、市職員の案内で完成した街並みと工事中の場所を視察する。完成した街路は電線がなく歩道路がカラー化され快適な歩行空間が広がっていた。少し歩くと工事中の現場を見ることが出来た、また、隣りの道路とのギャップの差に驚かされた。

事業効果としては、広い歩道の設置、電線類の地中化、又歩道のグレードアップにより、事業がスタートした平成元年に比べ、平成13年には自転車数で1.4倍、歩行者数で2.1倍に増加した。そして、街路の整備によりイベント等に利用出来る公共空間が出来たのでイベント開催数が増加し、この長引く不況下の中でも街区ぐるみの魅力ある近代的商店街づくりによって年間販売額をのぼすことに成功した。

我が潮来市においても潮来駅周辺の県道潮来佐原線のリフレッシュ事業（歩道の整備、電線類の地中化）

が進められているところなので完成後はこの広い空間でイベント等が開催され駅周辺商店街の活性化につながればと考える。そのためにも、岩井市の人々のように行政に頼りすぎない市民・商店街の積極的な活性化への参加を希望し、今後は、この建設委員会の研修成果が潮来市のまちづくりにつながるよう努力してまいります。



議会広報編集委員会研修視察報告

期 日：平成16年9月29日（水）～10月1日（金）

研修地：北海道美幌町

内 容：議会だよりの編集方法等について

参加者：委 員 長 粟飯原治雄

副委員長 内田 正一

委 員 篠塚貴美子

柚木 巖

吉川 俊

研 修 内 容

今回の視察研修は、全国町村議会議会広報全国コンクールにおいて平成14年度に「奨励賞」、北海道町村議会広報コンクールにおいて平成16年度「特選」を受賞している北海道美幌町議会を訪問しました。

美幌町は、北海道の東部、阿寒国立公園の北部に位置し、町内には美幌川が貫通し、穏やかな丘陵地帯で、面積438m²、人口約23,000人の町です。また、町内には、自衛隊駐屯地が置かれ、自衛隊駐屯地と町の融和関係が良好であることも知られています。

阿寒国立公園の玄関口「美幌峠」には、年間130万人の観光客が訪れ、道東の交通の要衝でもあります。美幌という名前の由来は、多くの清流が合流して水量が豊富なところをアイヌ語で「ピ・ポロ=水多く・大きいなる所」といい、これが転訛して「ビホロ」と名づけられたそうです。

美幌町の議会だよりの発行状況は、年4回（定例会ごと）に発行され、定例会終了後2～2.5ヶ月を目標に編集が進められています。配布方法は、自治会を通

して行っています。編集体制としては、議会運営委員会が議会広報に関するることを所管し、議会運営委員会委員の中から3名の広報編集委員会委員を選出し、事務局と共に編集にあたっています。

編集の基本方針として、「発言内容を損ねないように短く、正確を期す」「町民の関心事は、極力詳しく掲載する」「興味、関心を持ってもらうよう写真の効果的採用と見出しの工夫」に努めているそうです。

規格は、A4版、16～20ページで、一般質問の掲載については、1人、14字×110行程度が割り当てられ、事務局が作成しています（潮来市の場合は、1人1ページ、質問者本人が作成、質問項目2～3点に絞り要約して掲載）。広報編集委員の役割としては、事務局で作成した原稿の確認が主な役目です。編集作業において、編集ソフトを導入し、レイアウト、作業期間短縮等においても効率化がはかられ、大変参考になりました。

課題としては、紙面が本会議中心の記事の硬いものとなりがちなため、企画ものの掲載を検討しているところで、現在その企画ものとして、シリーズ「議会ってどんなとこ」を連載しているそうです。また今後は、議会だよりの早期発行や紙面の多色化についても改善していきたいということでした。

今回の視察研修の成果を生かし、潮来市の議会だよりも「読み手側の立場」に立ち、住民の皆様に、わかりやすく、親しまれる議会だよりになるよう努力してまいります。



第13回全国市町村交流レガッタ美浜大会

潮来市議会ボート部

3位入賞

9月25日(土)～26日(日)「全国市町村交流レガッタ美浜大会」が、福井県美浜町で開催されました。この大会はボートをとおして、参加市町村住民の健康増進とボート競技の普及拡大を図るとともに、当該加入市町村の経済、文化、スポーツの交流を目的とした大会です。

潮来市からは、議会の部に“潮来市議会チーム”と壮年女子の部には潮来市民レガッタ大会で上位入賞した“艇春会チーム”が出場しました。議会チームは、この大会に向けて、4月から練習を十分に積み重ねレースに臨みました。予選を1位で通過し、準決勝、決勝と進み、チーム全員が力を余すことなく全力でオールを漕ぎ上位に付けていましたが、もう一漕ぎと結果は3位でのゴールとなりました。祈願の優勝をのがし、銅メダルではありますが金メダルに負けないレースであったのではないかでしょうか。

艇春会チームは、予選を順調に勝ち進み、決勝では素晴らしいレースを展開し見事に優勝されました。仕事と家庭を両立し練習を重ねた成果が、見事に発揮されたレースでした。

来年は、静岡県天竜市で開催されます。優勝を目指して更に頑張りたいと思います。



市議会のしくみ

潮来市のまちづくり、住民福祉の向上などの市政運営は、それぞれ選挙によって選ばれた市民の代表者である市長（執行機関）と市議会議員で構成する議会（議決機関）に委ねられています。両者は、互いに独立し、その権限を侵さず、侵されず、対等の立場と地位に立ち市政を運営します。

議会のもつ最も大きな役割・使命は、2つ挙げられます。その第1は、市の具体的な政策を最終的に決定することです。議会は、市の政策形成過程及び政策の実施過程に多面的に参画し、その要所要所で重要な意思決定を行います。条例、予算、契約等の多くの政策は、執行機関で作られ、議会に提案されます。それらを議会（議員）は、本会議や委員会において、質問、質疑、修正等をして政策形成過程に参画し、その審議において、最終的な政策の決定、すなわち市の意思決定を行います。

その第2は、議会が決定した政策を中心に行う執行機関の行財政運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法・適正に、しかも、公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを住民の代表者として住民の立場に立ち、批判し監視することです。いわゆる、チェック機関としての役割を果すことです。

このようなことから、議会における議員の一言一句は、とりもなおさず住民の意見であり、住民からの声であり、議員の行う質問、質疑、討論は、同時に住民の疑問であり意見であり、表決において投する1票は、住民の立場に立った真剣な1票なのです。

◆議員定数

議員の定数は、法律により定められております。潮来市の場合、地方自治法による法定数は26人ですが、平成14年第4回定例会において、議員定数条例が制定され、現在 **24人** となっています。

◆議長・副議長

議長と副議長は、議会において議員の中から選挙されます。議長は、議会を代表するとともに、議事を整理したり、議会の事務を処理する権限を持っています。副議長は、議長が不在の時に議長の代わりを務めます。

◆議会事務局

市議会運営を円滑に処理するために、議会事務局が設置されています。現在、3人の職員で、本会議、委員会等のさまざまな議会運営に関する庶務、調査、議事の整理等の事務を行っています。

◆議会

議会は、いつも開かれているのではなく、定例または臨時に、一定の期間だけ開かれます。定期的に開く議会を「定例会」、必要に応じて臨時的に開く議会を「臨時会」といいます。本市の定例会は、年4回で、3月、6月、9月、12月に開かれます。

◆会議

議会は、議決機関ですから、活動中心は会議にあるといえます。議会では、各種の会議を開きますが、その内、特に重要な会議は、本会議と委員会審査です。

◆本会議

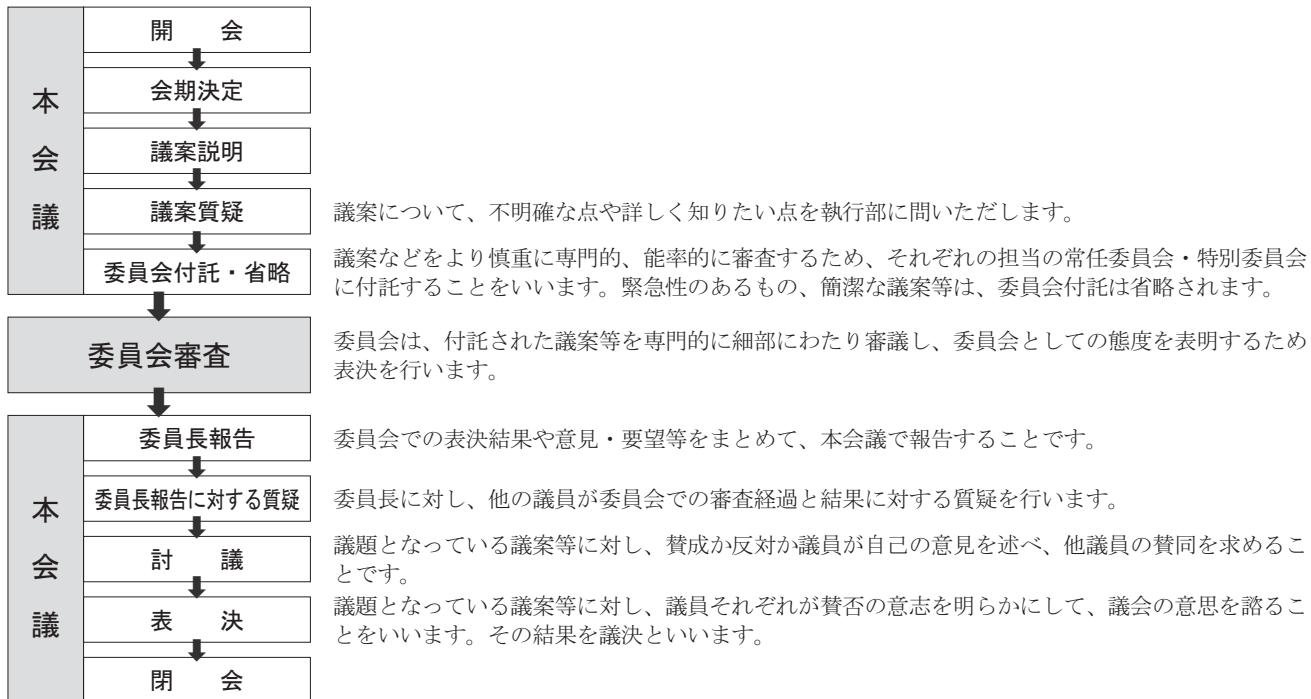
本会議は、議案などを審査し、議会の最終的な意思を決定する会議です。提出した議案について、市長等が説明をし、これに対し議員から質疑や討論が述べられた後、可否を表決します。

◆一般通告質問

議案に関係なく、市政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めることがあります。

◆会期と議事の流れ

開会から閉会までの期間を「会期」といいます。議事は、おおむね次のような順序で進められます。



◆委員会

議案等は、最終的には本会議で可否が決められますが、市政運営は広範囲にわたるので、あらかじめいくつかの委員会を設け、専門的に審査を行います。委員会には、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。議員は、必ず1つの常任委員会に所属しなければなりません。現在、潮来市議会には、次の委員会が設置されております。

常任委員会 ……地方公共団体の事務に関する調査及び議案等の審査を行わせるため、条例で定められた常設する委員会。

議会運営委員会 ……円滑な議会運営を期すため、議会運営の全般について、協議し、意見調整を図る場として設置された委員会。

特別委員会 ……特定の付議事件を審査するために設置する委員会。

常任委員会名称	定 数	所 管 事 項
総務委員会	6	総務部、会計課、並びに他の委員会に属さない事項の調査及び議案、請願、陳情等の審査。
環境経済委員会	6	環境経済部、農業委員会に関する事項の調査及び議案、請願、陳情等の審査。
教育福祉委員会	6	市民福祉部、教育委員会に関する事項の調査及び議案、請願、陳情等の審査。
建設委員会	6	建設部、水道課に関する事項の調査及び議案、請願、陳情等の審査。

議会運営委員会	8	(1) 議会の運営に関する事項 (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 (3) 議長の諮問に関する事項
---------	---	--

特別委員会名称	定 数	所 管 事 項
議員定数調査特別委員会	24	(1) 議員定数に関する調査
議会広報編集委員会	5	議会広報紙「議会だより」の編集と発行。

第4回潮来市議長杯クロッケー・輪投げ大会

クロッケーの部優勝

新町あけぼのクラブ

輪投げの部優勝

徳島長生会

平成16年10月7日(木)、第4回潮来市議長杯クロッkee・輪投げ大会が、かすみの郷運動公園で開催されました。

秋晴れのもと、総勢約600名の高齢者クラブ会員が参加し、それぞれの技を競い合いました。大会の成績結果は、次のとおりです。

	クロッkeeの部	輪投げの部
優勝	新町あけぼのクラブ	徳島長生会
準優勝	釜谷長寿会	あずま老人クラブ
3位	古高長寿会	大山シニアクラブ
敢闘賞	後明老人クラブ	水原第一区長寿会



◎クロッkeeの部優勝◎ 新町あけぼのクラブ



◎輪投げの部優勝◎ 徳島長生会

さっそく広報紙についての研修です。美幌町の議会紙はコンクールにおいて優秀な成績を受けています。広報紙の原点は、読みやすさはもとより、わかりやすい紙面づくりに努めています。議会の一般質問では、特に見出しが内容が読み取ることが出来るように表現しています。

台風二一号の進路を気にしながら、九月末に北海道網走郡美幌町に広報委員会の視察研修を実施しました。美幌町は、畑作農業地帯で、収穫が終り、作物の山がところどころで積み上げられていました。美幌川が流れていて、日本で一番の清流である。丘陵地は、緑の台地となり、牛が放牧され、自然環境の豊かなところでした。白樺林と熊笹の群生が見られ、紅葉が始まっていました。

編集後記

議会広報編集委員会			
委員	委員長	副委員長	委員
吉川 柚木	篠塚貴美子	内田 正一	栗飯原治雄
俊巖			